

平成22年度 “宝くじスポーツフェア” ドリーム・サッカー  
-日本代表OBがやって来る！-実施要綱

1 趣旨

サッカー元日本代表選手（国際サッカー連盟、アジアサッカー連盟または日本サッカー協会の公式大会に登録された経歴のある男子OB選手）及び元日本代表に準ずる元選手（以下「元日本代表選手」という。）による開催地チームとの親善試合、サッカー教室等を全国各地で行い、もって青少年の健全な育成と長寿社会に対応した明るいまちづくりに資するとともに、これらの事業を通じて宝くじの普及広報を行う。

2 実施方法

(1) 事業の名称

この事業の名称は“宝くじスポーツフェア” ドリーム・サッカー 日本代表OBがやって来る！という。

(2) 開催

この事業は、平成22年度においては全国2箇所程度の地方公共団体で開催する。

(3) 開催地

財団法人自治総合センターが開催希望の都道府県と協議して定める。

(4) 主催者

開催地の都道府県、市町村及び財団法人自治総合センター

(5) 協力

財団法人日本サッカー協会、開催地のサッカー協会

(6) 時期

平成22年4月から平成23年3月までの期間内で、主催者と日本サッカー協会が協議して定める日曜日、祝祭日を含む2日間（2日目が休日になるように設定）

(7) 会場

①各会場の確保：事業当日2日間と前日を含め全3日間

②施設要件

イ) サッカースタジアム（ピッチが天然芝張りであり、概ね3,000席以上の観客席を有するもの）

ロ) サブグラウンド（サッカー教室会場。スタジアムに隣接したグラウンド若しくはサッカースタジアムと兼用も可能）

ハ) 雨天会場（概ね800人以上の観客席を有する体育館等の屋内施設）サッカースタジアムに隣接していることが望ましいが、離れている場合は車で15分程度の距離にある施設が適当である。

3 事業の内容

(1) サッカー指導者クリニック（120分）

- ・講師／指導者資格保有者2名
- ・対象／少年サッカーチーム指導者等
- ・人数／50名程度

- (2) 少年少女サッカー教室（120分）
  - ・対象／小学生5、6年生
  - ・人数／200名程度
  - ・教室を始める前に記念撮影を行う
- (3) 抽選会（15分）
  - ・対象／観客
  - ・賞品／出場選手のサイングッズなど
- (4) アトラクション（30分）
  - ・派遣選手と開催地の方々の参加型アトラクション
- (5) 親善試合「ドリーム・ゲーム」（75分）
  - ・元日本代表選手チーム対開催地チーム
  - ・前後半各30分、ハーフタイム15分

#### 4 出場予定者

- (1) 親善試合
  - ・サッカー元日本代表選手20名（サッカー教室講師を兼ねる）
  - ・監督1名
  - ・コーチ1名
- (2) サッカー指導者クリニック
  - ・指導者資格保有者2名

#### 5 日程（予定）

##### 〔第1日目〕

14:30～16:30 サッカー指導者クリニック

##### 〔第2日目〕

9:30～ 9:45 記念撮影（サッカー教室受講者）  
9:45～11:45 少年少女サッカー教室  
12:10～12:25 ドリーム抽選会  
12:30～12:50 開会式  
13:00～13:30 アトラクション  
13:30～14:45 ドリーム・ゲーム  
14:45～15:00 閉会式

#### 6 経費

この事業の実施に要する経費は、原則として財団法人自治総合センターが負担するが、次の7の業務に要する経費は開催地の負担とする。

#### 7 開催地の主たる業務

- (1) 会場及び付帯施設、設備及び備品・消耗品の提供
- (2) 音響設備の設置
- (3) 運営スタッフの提供
- (4) 出場者、参加者の募集と管理
- (5) 開催告知及び観客の動員

(ただし、告知用のポスター・チラシは、財団法人自治総合センターで作成し、提供する。)

(6) 選手等の送迎(最寄り駅あるいは空港から宿泊地の間等)

(ただし、2日間の選手送迎用のバス1台分は、財団法人自治総合センターにおいて負担、それ以外は、開催地の負担とする。)

(7) 選手、スタッフの昼食等手配

8 事業の実施

開催地の都道府県及び市町村は、この事業が円滑に実施されるよう積極的に協力するものとする。特に、広報誌への掲載、ポスター・チラシの掲示、配布等事業の周知宣伝を行い、会場を満員にするよう努力するものとする。

9 宝くじの普及広報

主催者は、開催会場及び関係印刷物に宝くじに関する表示をする等宝くじの普及広報を行うものとする。